

ミニコンクリートカヌー

都立総合工科高等学校

作品説明

ミニコンクリートカヌーは、実際のサイズの5分の1です。形から本体の重さ、操舵手の体重に至るまで全て精巧につくられています。もちろん、水にも浮きます。

土木学会関東支部主催のコンクリートカヌー大会※に2019年に出場しました。荒川貯水池“彩湖”にて行われ、見事「セメント賞（セメント新聞社賞）」を受賞しました。

セメント量 100kg【東京都立総合工科高等学校：コヌー】
(選定方法：セメント使用量の一番多いチームのうち、成績優秀あるいは特に敢闘したチーム、実物は 120kg)

本大会は、土木の主材料であるコンクリートを用いたカヌーの製作とレースを通じて、ものづくりの楽しさを土木の将来を担う学生たちに実感してもらうことを目的としています。

※今年度、3年ぶりに開催予定です。2022年8月27日(土)荒川貯水池“彩湖”

